

まちの「宝」発見! 見て知って「ぶんかざい」

「文化財」とは聞きなれない言葉かもしれませんが、歴史的・芸術的に価値のあるものを、次の世代に伝えるために、大切に保護しているもので、昔からの建物や絵画、彫刻をはじめ、やきものなどの工芸品や、遺跡などの埋蔵文化財、動物・植物などの天然記念物などが対象となります。

瀬戸のまちにも多くの「文化財」があり、皆さんの身近な所にあったりします。もうすぐ、夏休みになります。まちの宝「文化財」を家族やお友達と見に出かけませんか。



おおさんしょうお

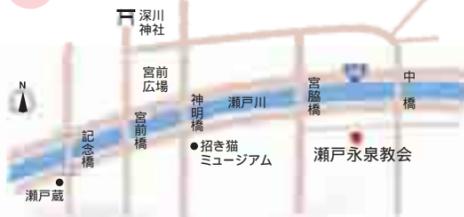


はくつちょうさ



せとせいせんきょうかい

アクセス



明治からの宝 瀬戸永泉教会の礼拝堂 (国登録文化財)



大正4年頃の礼拝堂(写真提供 / 瀬戸永泉教会)

市内には、国・県・市の指定した文化財が71件、国の登録した文化財が2件あります。今回は、今年4月に、国の文化財として登録された、瀬戸永泉教会の「礼拝堂」を紹介します。



この礼拝堂は、キリスト教で神さまにお祈りする建物です。明治33年(1900年)に建てられ(左写真) 昭和5年(1930年)には正面出入口上の六角形ステンドグラスや、側面などにある上側が丸い形の飾窓を取り付けるなどの改修がされました(前ページ写真)。木造の瓦葺建物で、屋内天井部分には、江戸時代以来の土蔵などの建物にみられる構造と、西洋風の新しい建物の構造が組み合った、明治期ならではの特徴がみられます。

明治期から続く現役の木造教会建築は、県内でも3例ほどしかなく、貴重な文化財です。礼拝堂の屋根裏(瓦の裏側)の板は明治時代のもので、他の大正時代以降の建物にみられるものとは違ってとても厚く、屋根の熱気を遮るため、日差しの強い日でもクーラーなしで過ごせるそうです。

インタビュー

教会員の皆さんにお話を聞きました

瀬戸では、すでに明治12年(1879年)から、中水野村(今の三沢町1丁目)の東光寺でキリスト教を広める活動が行われており、やがてキリスト教の信者の多い瀬戸村に活動の中心が移っていく中で、明治33年(1900年)にこの礼拝堂が建設されたそうです。この頃の瀬戸川は今よりなだらかな地形になっており、この教会の場所は田園地帯でした。教会は、教会員の方ばかりではなく、外国の文化や知識に興味を持った方も多く集まった交流の場でもあったそうです。そんな歴史を感じてもらいながら、この礼拝堂を見てもらうと、より身近に感じられるかなと思います。

現在、教会員の皆さんは、永泉教会の約120年の歴史を1冊の本にまとめるために、むかしの資料などを解説されています。礼拝堂は、道路から全体を見渡すことができますので、ぜひ、国の登録文化財となった瀬戸永泉教会の礼拝堂を見に行ってください。当時の町の様子などのお話も聞けるかもしれません。



樋口嘉彦さん(左)、大内弘子さん(中央)、伊藤正征さん(右から2番目)

瀬戸には文化財がこの他にもたくさんあります。くわしくは市ホームページ「課別検索」「文化課」「瀬戸市の文化財」をご覧ください。

参加者募集

せと歴!

- せと 歴史と文化財を知る見学会 -
この夏、瀬戸の数ある文化財の中から6箇所を3回に分けて見学する会を開催しますので、ぜひご参加ください。

- 「定光寺」を訪ねる
集合日時 7月31日(土) 午後2時
集合場所 定光寺公園駐車場(コミュニティバス停前)
内容 定光寺本堂・源敬公廟
- 「深川・杉塚町」を訪ねる
集合日時 8月21日(土) 午後2時
集合場所 宮前広場駐車場
内容 深川神社陶製狛犬・瀬戸永泉教会礼拝堂
- 「赤津白坂」を訪ねる
集合日時 8月22日(日) ①午後1時30分 ②午後2時
集合場所 ①瀬戸市役所前 ②雲興寺
内容 雲興寺鐘楼・小長首窯跡
瀬戸市役所駐車場～雲興寺駐車場～小長首窯跡はマイクロバスで移動します。

定員 30人(先着順)
参加費 100円(レクリエーション保険代)
の参加者は深川神社宝物殿特別拝観料100円(中学生以下は無料)が必要。
申込方法 7月20日(火) 午前8時30分から電話でお申し込みください。
申込・問い合わせ先 / 文化課文化財係 21・1951